



にしおか
西岡
あらた
新さん(44)
＝維新元

地域繁栄へ声を届ける

「地元密着こそ政治家の原点。人口減少で岐路に立つ地域の維持繁栄へ新しい形を模索せねば」。無所属で挑んだ前回衆院選で落選後、2区のほか全域を歩き、有権者の声を国政に届ける意志は強まる一方だ。

加計学園問題について「地域で聞く市民の本音は不利を被る」と危惧する。「新設実現」。政局に左右されず民意を示し、情報公開しながら円滑な開学を働きかけた」と今選挙を通じての解決を目指す。首相の指示の裏付けなく問題が

一層長期化すれば「市民が16年間の国会議員秘書時代、国政の第一線で国民の意思を迅速に反映できる統治機構実現が不可欠と感

2区では協力関係の希望の党の候補者も立つが「選挙で新政党が出てくるのは当然。小選挙区で当選するために活動しており、地方の声を反映できるのは誰なのかを判断材料」と職責を担う自信を見せる。安全保

制は初挑戦以来求め今も変わらず。子どもを含め「若者代表で頑張る」と街で掛けられる声のおかげで約3年間ぶれずにいられた。

障では自衛隊の位置付けなど国の理念を明確に示し、中小零細企業が仕事しやすい環境整備を求める。心掛けるのは実行と挑戦。映画「ライフ・イズ・ビューティフル」を約20回鑑賞し「どんな困難にも前向きに取り組む主人公の姿勢は今の自分に通じる」。戦いの先に見据えるのは古里の新たな姿だ。

(山岡雄大)

平成29年10月14日

愛媛新聞掲載